緑化樹木の情報誌
緑化通信
2022 2月25日（年７回25日発行）第491号

発行所
一般社団法人 日本植木協会
〒107-0052　東京都港区赤坂6-4-22　三沖ビル3階
TEL.(03)3586-7361　FAX.(03)3586-7577
URL：https://www.ueki.or.jp/
E-mail：honbu@ueki.or.jp

購読希望の方は上記宛へお申込み下さい。年間購読料　5,000円

緑育出前授業実施令和３年度 14 回　参加者 820 名＋動画
平成 21 年度からの累計 164 回・13,834 名

協会緑育コンテンツが文部科学省のホームページ「子供の学び応援コンテンツリンク集」に掲載

2020/12/4　福岡県支部　小郡市立立石小学校５年生

実際に圃場内において中・高木の掘り取り作業を行い。樹木の育て方や管理方法、流通されていく過程を見てもらった。路地栽培では掘り上げて根巻きまで行い、ポット製品との大きさの違いや梱包の違いに興味津々でした。

2020/12/12　鹿児島県支部　出水市立西出水小学校３年生

出水市植木市場の見学、模擬セリなどを体験してもらい、実際のセリの様子も見学してもらった。この体験を通じて緑に興味を持ってもらい、緑の大切さを伝えた。

2021/2/8　大分県支部　杵築市立豊洋小学校４年生

今回で４回目の海岸林の保全活動となりました。海外林の役割、クロマツと人間の関わり、クロマツと松露菌の共生について勉強してもらい、奈多狩宿の財産である海岸林について理解を深めてもらえました。

2021/2/22　関西ブロック　大阪教育大学附属幼稚園 園児

幼稚園内にサクラ（ソメイヨシノ）、温州ミカン、ハッサクの葉、実、幹、花を用いてのクイズを行い、園内３カ所に分かれて植樹を行った。園児らには実際に土の埋め戻し作業や水やり等、植栽を体験してもらった。

2021/3/10　神奈川県支部　横浜市立小雀小学校３年生

「みどりの大切さ」、「樹木の生産には年月がかかること」、「どんなところに使われているか」、「生産での苦労すること」などを織り交ぜた授業を実施した。「緑育体験キット」をプレゼントして喜んでもらった。

2021/7/9　鹿児島県支部　出水市立蕨島小学校

座学（１限）植木屋さんとは、出水の植木、緑の大切さ等。樹名板製作（１限）校庭にある樹木の樹名板を作成する。低学年でも分かるよう心がけて緑の大切さ、植木とは、植木屋さんの仕事、出水市の植木等を紹介した。

2021/9/11　鹿児島県支部　出水市立高尾野小学校３年生

座学（１限）植木屋さんとは、出水の植木、緑の大切さ等。樹名板製作（１限）校庭にある樹木の樹名板を作成する。低学年でも分かるよう心がけて緑の大切さ、植木とは、植木屋さんの仕事、出水市の植木等を紹介した。

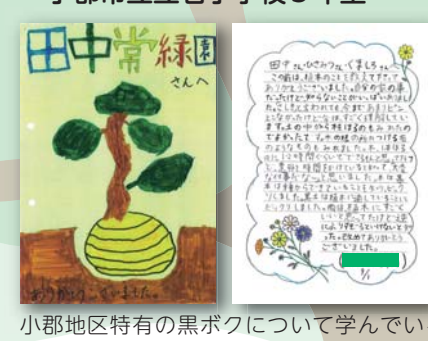
2021/7/13　宮城県支部　仙台市立通町小学校６年生

植物の生育中の葉付枝、ビニール製の植物の葉、クロマツの枝葉、広葉樹の葉、デジタル温度測定器、顕微鏡、単眼鏡植物の地球環境に及ぼす絶大な影響力を再確認した。社会貢献の一翼を担う植物との関わりから、夢と希望を膨らませてあげたい。

2021/7/30　三重県支部　dream station 学童１～４年生

身近な植木どこから来るかご存知ですか？植木の用いる宝物・花の寄せ植え体験／興味深く話を聞いてくれて、質問も沢山してくれた。好きな植物を選んだ寄せ植えもして、植物の大切さを知ってもらえた。

2021/10/5　福岡県支部　小郡市立立石小学校５年生



小郡地区特有の黒ボクについて学んでいるので、最寄りの社園に足を運んでもらっている。木の種から芽出しを目で体験したり、挿し木技術により発根している状況を体験してもしてもらい、緑の大切さを伝えた。

2021/10/31　福岡県支部「Let's Go!　アンビフェスタ」動画を配信 10 月 31 日～放映　（あんびねっと）

植木生産卸の仕事説明。具体的な生産方法・流通を比較的身近なドングリを使用し、わかりやすく解説。種まき～積み込み 出荷 までの一連の流れの動画撮影。『緑育体験キット』の紹介等もした。

2021/11/1　鹿児島県　出水市立西出水小学校３年生

１座学 環境教育。緑が地球環境に与える役割を教えた。２フィールドワーク 小学校の校庭にある実際の樹木とふれあい、葉や樹皮、匂いなどを体感し樹木の大切さを肌で感じてもらった。

2021/11/12　鹿児島県　出水市立西出水小学校３年生

西出水小学校２回目の緑育。樹木の出荷作業の見学や生産畑の様子などを視察しながら、緑の大切さ、木は育てるものと実際の現場で伝えた。掘り取りなどの出荷作業など実演を見て学習してもらった。

2021/11/16　福岡県支部　飯塚市立頴田小学校

昨年同様に福岡県環境緑化懇話会主催の「傘城ダム公園植栽ボランティアに対する協力依頼をもとに地元の頴田小学校の生徒とに対して一緒に植栽をし、安全指導を中心に緑に関する話などを協力して行った。

新入会員紹介

滝島園

〒190-0031　東京都立川市砂川町 3-9-7
電話 042-536-6549　FAX042-537-6277
e-mail support@takishimaen.com
HP https://www.takishimaen.com
滝島　聡

この度、日本植木協会に入会させて頂きました東京都立川市で植木生産卸販売を行っています滝島園「滝島　聡」と申します。私が生まれ育った立川市では植木生産が盛んに行われており幼少期から植木が身近な存在でした。

さて、協会に入会するきっかけですが、当園は私の祖父から植木産業を家業としており私で三代目となります。私は大学卒業後、飲食店でのサラリーマンを3年間経て父が経営する家業に職を移し、現在の家業に入り15年目となりました。家業に入った当時は植木産業を取り巻く環境や当園の経営状況も非常に厳しい状況でした。当時はケヤキ、ユリノキ、メタセコイア、サクラなどの落葉高木をメインに生産を行う傍らアジサイ、ウツギ、ヤマブキ、つつじ類などの低木も生産を行っておりました。

経営者である父と相談し生産樹木の大幅な変更を行い、現在は生産樹種のコニファー・常緑樹（常緑ヤマボウシ・ソヨゴ・サカキ）の割合を増加し、既存の落葉高木は品種を絞り大径木の生産に変化致しました。

また、既存の販路だけでなく、2019年に生花販売店『蔵の花屋コトハ』をオープンし、その店舗で当園の生産樹木の切り枝販売や植木の小売りを行っております。

入会にあたり全国の植木生産に関わる皆様方から様々な事を勉強させて頂く素晴らしい機会であり、知識や技術の向上を目指し吸収できることはすべて吸収し、目標である「儲かる農業」を実践したいと考えております。

終わりに、日本植木協会に入会にあたりご尽力・推薦して頂いた東京支部の皆様には感謝申し上げます。

今回、私が40歳を迎える節目に当たり植木産業の全国的な協会に入会することで微力ながら緑化産業の発展に努めることができればと感じております。

今度とも皆様方に置かれましてはご指導・ご鞭撻の程宜しくお願い致します。

新入会員紹介

㈲江波戸植木

〒289-2121　千葉県匝瑳市東小笹 2957
電話 0479-72-4550
FAX0479-72-4993
e-mail kiebato@beige.ocn.ne.jp
江波戸　喜一

この度新規に入会させて頂きました千葉県匝瑳市の『有限会社　江波戸植木』です。

弊社は、昭和四十年に初代創業者江波戸つぎ（現会長）が、江波戸ガーデンとして苗木の行商から始め、樹木の生産販売を中心に着実に地歩を固めると共に、生産者の皆さん、同業者の方々やお客様との信頼を築き上げ、高度経済成長期には公共事業の一環である高速道路や万博等に樹木を納め規模を拡大し、平成元年に業務の更なる拡充、拡大を視野に入れ、『有限会社江波戸植木』として新たに会社を設立しました。

その後令和元年に長男である江波戸喜一が新社長となり現在に至っております。

匝瑳市は、千葉県の北東部に位置し、第一次産業が盛んで、植木、苗木の産地であり、『日本有数の植木のまち』として知られており、その中にある当社は日本列島のほぼ中間に位置する地の利を生かし、近隣の樹木生産場は基より、北海道から九州まで日本全国の樹木流通の中間基地として、数多くの樹木が集荷され出荷されています。総面積500アールの圃場には、マキ、松などの造形樹をはじめコニファーなど公園樹・庭園樹・高木・低木様々な種類の樹木を取り扱い、お客様のニーズにお応えするべく日々対応しております。

さらに昨今の、地球環境の砂漠化、温暖化、及び都市近郊に於けるヒートアイランド現象等、環境問題は深刻化し、私達の生活にも多大な影響を及ぼしております。その様な中、屋上庭園、公園などの都市緑化事業が環境問題対策として最も有効な手段として各地で実施され、私達江波戸植木はこの様な、緑化事業を通じて少しでも住みよい環境作りをすることで、社会に貢献していきたいと考えております。

樹苗生産管理にプラスワン
樹木用　粒状殺虫剤
ダイリーグ粒剤
農林水産省登録 第23419号
樹木等の株元にそのまま散布するだけ。
発生直前から発生初期の使用がお勧めです。
TAISHIN SANGYO CO.,LTD.
大信産業株式会社
緑化部
広島県尾道市美ノ郷町本郷1-36
TEL（0848）38-1193
FAX（0848）20-5211

近年問題となっている
ゴマダラカミキリに高い効果！
その他
アプラムシ類、グンバイムシ類、カイガラムシ類にも
【使用時期目安】
ゴマダラカミキリ　5月下旬～6月
カイガラムシ類　5月下旬～6月
アプラムシ類　4月～6月、9月～10月
グンバイムシ類　5月～10月
※散布後の灌水又は降雨前後に散布してください。
ダイリーグ粒剤の使い方はコチラから
殺虫成分は、根から樹体内へ吸収されます。

ルポ

シリーズ 社園さん紹介 No.10

江原園
（埼玉県川口市）

いつも奥様には感謝しかないという優しい江原章治さん。感謝されるからここまで一緒に頑張れてきたという奥様の典子さん。今回は素敵なご夫婦紹介にもなったのではないでしょうか。

【従業員さん紹介】

内藤さん（写真左から２人目）　入社９月で入られたばかり。元々、外に出るのが好きで就職。

鈴木さん（写真後ろ中央）　入社３年目　もともと植物が好きで、マイブームは、今は多肉植物。

藤井さん（写真右端）　女性の方　昨年６月入社。未経験でしたが、最近は植物を見るとついつい気になってしまうらしい。

手前が江原章治さん、左後ろから奥様の江原典子さん、内藤さん、鈴木さん、江原史丈さん、藤井さん

協会に入会された頃のことをお教えください。

章治さん：「当時は露地モノを生産していたのですが、38歳頃、柴道さん（柴道本店）に紹介されて浅見さん（浅見園）と一緒に青年部会の準会員制度に入りました。その３年後にコンテナ部会に入会し、研修では全国から集まりバス６、７号車と連なってました。海外企画もありましたが、私には夢のまた夢。私が25歳の時に父親が亡くなって、私は長男として家を守ろうと色々なお誘いがあっても行けなかったです。でも国内研修だけは積極的に行きました。本当にいい勉強になりました」。

多品種栽培のコンテナ圃場

都心に近いため周りは建物のある圃場

露地モノ生産からコンテナ生産をされるようになったのですね？

章治さん：「はい。男手は私一人でしたので、掘り取りに時間が掛かってしました。今はいい思い出ですが、忙しい時は、夜中に女房が懐中電灯を照らして掘り取りをしてました。家に子供たちだけ置いておけないのでトラックの荷台に乗せて…限界だなと思い、ポット生産圃場を徐々に増やしていき、グランドカバーの流行とともにコンテナ生産へ方向転換しました」。

当時、奥様もお手伝いされていたのですか？

典子さん：「はい、結婚当時からです。私はいつも運ぶだけでしたけれど、夫が一人でやっているので、やはり手伝わなくちゃって思ってました。勤め人の家庭で育ちましたが、同じ地域だったので植木屋さんのお手伝いをするのは抵抗がなかったです。それに主人が結構細身だったので、私の父親から『お前、手伝ってやれ！』言われました。今はがっちりしてきましたけど（笑）」。

体が細かったようですが、ご丈夫なのですね？

章治さん：「お蔭様で、体は何一つ大病を患ったりケガもないです。結婚してからは、ばっちり栄養管理が行き届いているからね（笑）。いつも女房には頭が上がらないです。感謝ばかりです」。

典子さん：「感謝の言葉をよく言ってくれるので、ここまで続けてこられたのかもしれないです。私はそんなに思わないけど、周りから『優しい旦那さんね』とよく言われます」。

現在は従業員さんも結構いらっしゃいますね？

章治さん：「はい。でも、求人募集を掛けても、どのお店でもなかなか人が集まらないです。付近の鳩ケ谷駅からは３駅ほど行けば東京です。東京の路線の方が時給も高いでしょうし、お洒落なランチも楽しめます。逆に県北の方面だと人が集まるようです。この辺は選択肢が多い分、東京へ流れてしまいます」。都会に近いこの地域限定の雇用問題のようです。

息子の史丈さんは14年間、IT企業でお勤めして、３年前に家業に戻ってきてくれてよかったですね？

章治さん：「はい。私たちで終わりかな？って思っていましたが、なんとかお客様に迷惑を掛けずに食いつなぎが出来たのでよかったです」。

典子さん：「うちは男の子が２人なんですが、長男の史丈が一応勤めに出る当時、『もし出て行って弟が跡を継いだ場合は戻れないよ』とは言いました。でも、小さい頃から植木を見てきたから、全くの植木が初めての人とは違うんでしょうね」と、嬉しそうにお話してくれました。

史丈さんに。いずれ家業に戻ってこようと思っていたのですか？

史丈さん：「いずれは戻ってくるものと思っていましたが、自分のスキルを高めるために企業に勤めることを選択しました。おそらく、他の植木屋さんも皆、いずれは…と考えて外部に働きに出ている人も多いのではないでしょうか？」と語ってくれました。共感される方々も多いのではないでしょうか。

戻ってきて、思っていたことと違う等ありますか？

史丈さん：「植物生産もITシステムの開発のどちらも品質・生産性を高めて、新しいサービスを開発するという点で一致していますが、品質については大きく異なると考えています。植物は、各人の感性によって良いものが変わってくるのが面白いと思っています。この品質方針を考えて、江原園の事業領域を考えています」。なるほど…私は考えてもみないことでした。

息子さんの史丈さんに一言は？

章治さん：「若いからがむしゃらにやるので、月並みだけど健康に気を付けてもらいたいです。この仕事は、いち辞めた！という訳にはいかないので長くできる商売をして欲しいです」。

「また、この埼玉安行地域には同業者の若い人も沢山います。明後日は島根からも同年代の方が来られるし、皆さんと切磋琢磨し勉強しているようで、いいなと思っています。この仕事は野菜や果物のように市場に出荷して生計を立てるものではないので同業者との交流は大事です」。

史丈さんは青年部も入られてまだ２年ですが、抱負や今思うことは？

史丈さん：「入部した時は40歳で青年部の皆さんと一緒に新しいことにチャレンジするにも時間は短いと思っています。積極的に皆さんとお会いして、この業界を勉強させて頂きたいと考えています。皆さんに会いにも行きたいと思っていますし、いつでも皆さんがうちに来やすいようにはしておきたいと思っています。まだまだこれからです。」。

休日は何をしていますか？

史丈さん：「子どもが小さいので、休日は子どもと遊ぶ位ですね。畑にもたまに遊びに来ます」。

章治さん：「孫たちが遊びに来ると、私たちも励みになります。毎年、秋には畑で作った芋ほりをして楽しんでいます」。

お孫さんと一緒にお芋ほり

従業員さん達のためになる工夫とか何かありますか？

史丈さん：「少しずつ会社を良くして、皆さんの待遇を良くすることだけでなく、如何に仕事を通して楽しんで頂けるかを考えています。例えば、他社の社員とやり取りをして、取引に関わり緑をお客様に届ける。他社の圃場を見学して、自社の圃場を改善して生産技術を高める。などです。どんどん仕事の内容や任せる幅を広げて会社に深く関わって頂くことが、“成長や、やりがい”に繋がっていくと考えています。社員の皆さんは、どんどん新しい仕事にチャレンジする気持ちをもって頂いており、大変感謝しています。」。さすが前職が活かされる重みのある言葉だと思いました。

史丈さんのおっしゃっる“やりがい”は大切だと本当に思います。私たちも“やりがい”がないと続きません。このように実際に現場に行って見て話を聞くと勉強になりますし、社園さんともお近づきになれ、協会への情も深まります。改めてこの企画は続けたいと思いました。あと、本当にほのぼのとしたご夫婦を見て、心が温かくなりました。　事務局

インタビュー後の１枚

典子さんが、こういう十月桜などをいつでも見れるのがいいんですとおっしゃっていました。

素敵な屋号板

3. 一般の人に向けた動画

協会の知名度を向上させることは、協会に所属することのメリットになると考えております。しかし、一般に公開するということは、デメリットにもなるということを認識しなければなりません。今回は、どのような動画を一般の人に公開したらよいか、どのようなことに気を付けなければいけないか、話し合いを行いたいと思います。

（１）動画の内容①　『協会員のみが映る動画』

一般の方に、木がどのようにして自分たちの周りに届いているのか、生産の様子や出荷の様子など私たちの仕事を知ってもらう事に有効だと思います。また、樹木の剪定の仕方、樹木の移植について、一般の方たちが疑問に思いそうな事を発信すれば、協会を知るきっかけになると考えています。

動画の内容①　『協会員のみが映る動画』
緑育体験キット　https://youtu.be/37nxP8PEtrM

【動画の感想・意見・この項目の他のアイディア等】

一般の方に発信出来るのは良いと思います。
90㎝角の中の植栽は面白いと思いました、お庭が広くなくても木は植えられる、植栽はできるっていうアピールで木が１本でも世間に出るとうれしいなと感じました。
一般向けの方が確かに巾は広いと思いますが、造園業者向けの動画や、設計，コンサル業者向けの動画に力を入れるのも魅力的ですね。 あとは海の向う側の方へはどの様な語族でアプローチするかでしょうか。

- 一般の人たちは、緑に関して何か調べるとしたら、まずはインターネットで調べると思います。そんな中で、協会の動画が役に立てば協会を知ってもらう事に繋がると考えています。
- 木の良さ、緑の大切さなども伝えられると考えています。
- このような動画に関しては、支部やブロックの事業の案のひとつとして行って頂ければと思います。

（２）動画の内容②　『協会員以外も映る動画』

緑育出前授業や記念樹等贈呈事業など、協会外の人たちとの交流や活動を紹介することは、協会の大きなアピールになります。

動画の内容②　『協会員以外も映る動画』
鹿児島県支部　https://youtu.be/_34qnT0E5O4

福岡県支部　https://youtu.be/LZboDUFGee0
あんびねっと

【動画の感想・意見・この項目の他のアイディア等】

プライバシー等の配慮が一番の課題だと思う。
緑育体験キット等、しっかり完成度の高い動画なので、しっかり許可を取った上で協会のアピールとして良い動画だと感じました。
植木に関わる人全ての人が何かしら良くなるならいいと思います。
やり方、手順、説明など動画が分かりやすくていいですね。
生産場所や、生産者さんの特定になるような動画は辞めた方が良いと思います。

- 緑育出前授業は、一般の方にこの活動を知って頂きたいというのもありますが、他の支部がどのような緑育を行っているのか、自分たちで行うときのヒントにして頂きたいとも思っています

（３）一般に公開する動画について

一般に公開する動画を撮影する際は、撮影前に動画に映る方に動画の使用目的、使用方法をしっかりと説明をし、承諾を得る必要があります。それは一般の方だけでなく会員にも同様です、映りたくない方は事前に決められた場所に移動するなど工夫をしながら撮影をお願い致します。また、挿入する音楽や写真、イラストが著作権の侵害にならないよう注意が必要になるほか、協会の動画で特定の商品や固有の名称を出し、他社の利益や損失につながる事がないようにしなくてはなりません。

【意見】

一般公開用の動画は、認知度向上を狙うものであるなら、再生回数やクオリティの観点からプロも交えることも検討すべき。
まずは協会員内に向けたコンプライアンスをあまり意識しないものから作成していければ作りやすい
色々な動画の撮り方はありますが、許可の問題をちゃんとする為に、許可書の雛形などあると今後がやりやすくなると思います。

- 動画のアップロードに関しては､各支部が上げるのではなく､執行部が行います。今後動画を撮影頂いた場合は、執行部に提出して頂き、内容を確認し配信いたします。
- 音楽の著作権については、YouTube にアップロードすると自動で判別します。もし著作権の侵害に当たる場合は YouTube 内のフリー素材に簡単に変更できます。

動画撮影の注意点

- 動画に映る人に使用目的、使用方法を説明し承諾を得てください。
  また、公共の場で撮影される場合は施設管理者に説明し許可を得るようにしてください。
- 服装や身だしなみに注意してください。
- 脚立を使用する等危険な作業の場合は保護具の着用をお願い致します。
- 挿入する音楽などは著作権のかからないフリー素材をご使用ください。
- 協会が推奨していると誤解されないよう特定の商品名を出さないでください。
  ただし、賛助会員の商品については各社にご確認下さい。

【その他の意見・注意事項】

プライバシーの問題や、マナー、モラル、法令・条例の遵守等に関して細心の注意を払うべき誤情報を流すことのないよう注意が必要
動画において、画質はとにかく大事だと思いました。
安全管理をしっかりしする事が大事と感じました。
音楽などの著作権

4. 今後の動画の撮影について

今回の幹事支部長合同会議で動画の撮影について理解を深めていただき、今後多く行われてほしいと思っておりますが、動画の撮影は強制ではありません。動画も、たくさん撮ってどんどん配信するというのではなく、活動の共有や普及活動の新しい方法の１つとして利用していきたいと考えています。

動画の撮影のために何かをするのではなく、コロナが終息し、今まで通り各支部、各ブロックで様々な活動が行われるときにはその様子を撮影して頂ければと思います。もちろん、支部やブロックの事業として撮影をして頂いても構いません。せっかく活動をおこなっているなら、どんなことをしているのか他の支部の会員や一般の方にも知ってもらう事ができたらと考えています。

5. 合同会議後のアンケート結果

合同会議後に今後の撮影についてアンケートをお願い致しました。以下結果

合同会議の内容をふまえて、動画は協会の活動に有用だと思いますか？

詳細

合同会議で各支部の動画を見たうえで、今後の動画の撮影について下記の選択にご回答ください。

詳細　Insights

（１）上記で動画を『撮ろうと思った・撮ってみようかなと思った』とご回答頂いた方、どのような内容なら撮れると感じましたか？ご記入下さい。

社園紹介。根巻きの仕速さ対決 WW
簡単な紹介動画など
新しい、機械やこれを使ってみたら生産効率が上がった等の動画。緑育やイベント等の動画も活動状況が分かりやすいので撮って行きたいと感じました。

（２）上記で動画を『撮るかわからない・撮らないと思う・撮りたくない』とご回答頂いた方、そのように感じた理由をご記入下さい。

撮影をして、編集するスキルが自分に無いから難しいと思った。

- アンケートでは合同会議の内容をふまえ、動画は有用だと思う、撮ってみようかなと前向きなご意見が頂けました。
- 支部内で動画やパソコン、SNS に詳しい人がいるかいないかというのも大きく作用していることがわかりました。また、支部への負担が大きくなることへの懸念もあると思います。スマートフォンの進化により簡単な作成方法も増えてきているので、その方法や技術を共有していけるようにする必要があります。
- 良い点も悪い点も少しずつ動画を増やしていきながら、情報を共有したいと思います。

6. 動画の配信方法について

今回撮影頂いた動画は青年部の会員が見られるように YouTube の限定公開で動画の配信を行います。限定公開は、ページの URL を知っている方のみが閲覧可能な配信方法で、検索しても出てくることはありません。逆に URL を知っていれば誰でも閲覧できてしまいますので、URL を青年部会員以外に公開しないようにお願い致します。

また、すでに Facebook や YouTube で配信しても構わないと伺っている動画に関しては配信するようにいたします。また、先ほども記載したように、**動画の配信は執行部で内容を確認してから行います。各支部で配信しないようによろしくお願い致します。**

7. 最後に

動画は､情報の共有や発信になると同時に､活動の記録を残すことができます。

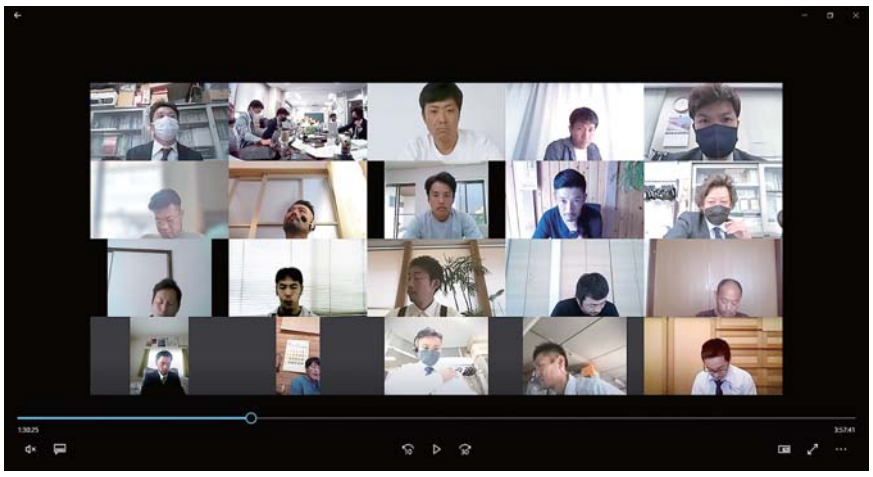
後から活動を振り返ることも、新しく入った人が過去の活動を見ることもできます、動画が増えていく事は協会の財産になると思っています。また今後、総会や研修会で集まるときに、動画が会話のきっかけにもなり、会員同士の距離も近くなってくれたらうれしいです。

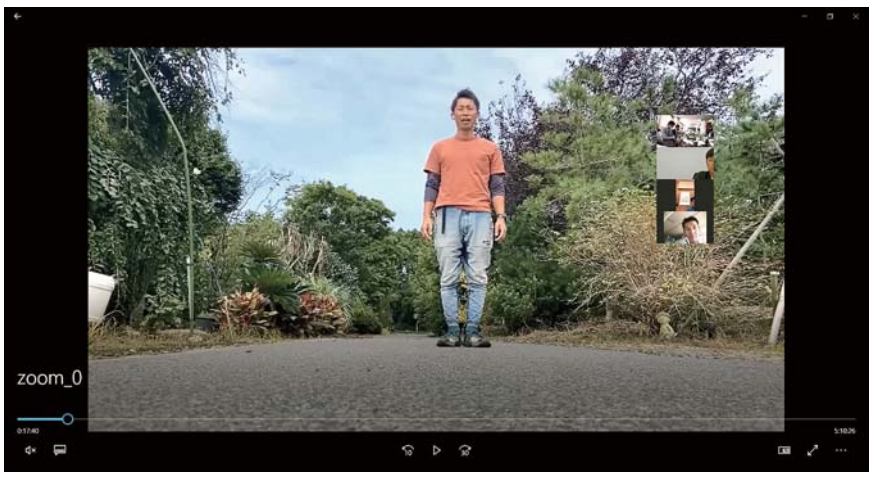
今後もご協力のほどよろしくお願い致します。

青年部会

令和３年度　幹事支部長合同会議報告書
「青年部会運営におけるインターネットの活用」

青年部会　総務委員長　植　島　春　樹（植島植木㈲・東京都）





令和３年10月５日（火）10時から12時まで令和３年度幹事支部長合同会議をリモートにより19名で開催しました。
テーマ：『青年部会運営におけるインターネットの活用』
「各支部に、植木の生産、管理の技術等を動画に収めてもらい、部会員の知識・技術向上、情報の共有を行うとともに、協会のホームページや Facebook 等インターネットで動画を配信することにより、協会の知名度の向上と新規会員の入会を促進させる。」
青年部会では、今後動画を利用して協会の活動を協会内や一般の方に向けて配信し、会議内では、今後青年部会が動画をどのように活用したら良いかという事を中心に話し合いを行いました。会議前に各支部に実際に動画の撮影をして頂き、それをもとに会議を行いました。
また、他の支部が撮影した動画を見ることで、動画撮影のアイディアや撮影の仕方など、今後の動画撮影に繋がるように、情報を共有して頂けたらという思いもありました。
今回の会議では、動画の使用目的別に４つの項目に分類し、項目ごとにそれに適した動画を見ながら、感想、意見を出してもらいました。

1. 動画の使用目的について

日本植木協会の会員は全国にいます。各支部、各ブロックはそれぞれ活動を行っておりますが、他支部、他ブロックの活動内容はわからないのが現状です。
また、他ブロックの会員同士が集まる機会は年に２回しかありません、青年部会では今後、インターネットを活用し離れた会員同士の距離を近づけたいと考えており、動画はそのツールの一つとしてとても有効です。
他にも、動画は一般の方に協会の活動や私たちの仕事を知ってもらうきっかけになると思います。

2. 協会員に向けた動画

（１）情報の共有

動画で圃場の様子や、生産しているものを見られるようにすることで、各社園のPRにつながると考えています。その他に、協会の活動で会員に共有したい情報も動画を使えば、説明会を開催しなくても、会員が開いている時間に見ることができ、繰り返し説明を聞くこともできます。

情報の共有
三重県支部　https://youtu.be/dkK-0P12TSE

【動画の感想・意見・この項目の他のアイディア等】

仲間の生産内容が見れたことや、元気にしているのが確認できて良かったです。
普段集まるだけでは見れない情報もあり、こういう形でしかできない情報発信もありこれから試行錯誤して良い形を見つけていければ新しい可能性になるかもと感じました。
各県での生産状況を知れる事は良い事だと思います。
ドローン等での圃場紹介はいい動画になると思う。

- 昨年の合同会議の中でもありましたが、協会ホームページ内のプロフィールの強化に動画を取り入れてはという試みです。これは、みんなが必ずやらなければいけないのではなく、載せたいと思う方が載せられる環境を作りたいと考えています。
- 協会の活動で会員に共有したい情報というのは、今まで、総会以外で何か情報を会員に届ける場合、幹事から各ブロック長へ、そこから各支部長へ、そして会員へ伝達されています。伝えること自体大変であると同時に、すべてを伝えきることが難しいと思います。これも動画を使えば説明の手間が省け、説明会に参加できなかった人も好きな時に説明を聞けると同時に説明を後日振り返る事ができます。
- また現在、緑育事業の方で緑育体験キットを作成し、普及に向けて取り組みが行われています。
  キットの、使い方、作り方も動画を使えばわかりやすく、みんなに伝えられます。すでにキット作成動画は制作され、使用されています。
- 支部の様子やブロックの活動を共有することで、自分の支部やブロックの活動に反映できたらと考えています。

（２）知識・技術の向上

現在各支部やブロックで、研修会や講習会が行われていると思います。しかし、上記でも述べたように他支部、他ブロックで何をしているかはわかりません。青年部会では今後、講習会などの様子を動画で共有することで、離れていても共に学ぶことができる環境を整えたいと思います。

知識・技術の向上
熊本県支部　https://youtu.be/5oeZoBkH0w8
親会ドローン

【動画の感想・意見・メモ・この項目の他のアイディア等】

自分との荷造りの違いなどが分かったのが嬉しかった。
情報共有は大事だと思う。
ドローンの講習動画等、興味ある動画がいつでも見れるような体制になっていれば、協会に所属するメリットになると思います。他にも協会員から興味がある情報を色々聞いてそれに対応できた動画等あればとてもいいかと思いました。
ドローンによる薬剤散布は、実際に見たことがなかったので勉強になりました。 100mを30秒で散布する、の発言には驚愕しました。新しい知識を学べることはとてもありがたいと思います。
各県によって根巻きの仕方や、出荷の様子の違いが分かり勉強になりました。

- 植生アドバイザーの講習内容も文字と写真ではなく、動画で様子などを紹介すれば、興味を持つ方が増えるのではないかと思います。
- 今後海外に向けて出荷したいけど、どのような処理が必要なのかなど、教えられること、教えられないことがいろいろあるとは思いますが、共有できる範囲で新たな知識を学べたら協会に入ったメリットにもつながると考えています。

学校紹介

～未来の業界を担う若者たち～ 岩手県立花巻農業高校 環境科学科緑化系列

1．学校の概要

岩手県花巻市にある岩手県立花巻農業高等学校は明治40年に稗貫郡蚕業講習所として創立され、115年の歴史と伝統を有する農業高校です。また、童話作家として知られる宮沢賢治先生が、大正10年12月から4年4ヶ月の間教鞭を執られた学校としても広く知られております。

本校は生物科学科、環境科学科、食農科学科の3つの学科を設置しており、専門性を活かしながら実践的、体験的な学びを通して、地域産業に貢献する生徒の育成に取り組んでいます。

2．環境科学科の概要

環境科学科は、緑化と土木の2つの系列に分かれ専門的な学習をしています。土木系列では、測量実習などを中心に、測量士補、測量士、土木施工管理技士などの資格取得に取り組んでいます。緑化系列では、樹木の剪定管理や庭園の施工、製図などの実習を中心に、造園技能検定や造園施工管理技士などの国家資格取得に取り組んでいます。

3．特色ある教育活動

⑴資格取得への取り組み

①3級造園技能検定の取得

この資格取得への取り組みは、3年次の4月から7月まで行います。目標である全員合格を達成するため、生徒自ら放課後や休日も利用し、切磋琢磨しながら取り組むことができました。この検定への取り組みは、技術の向上は勿論ですが、ものづくりに対する姿勢や態度も身に付く生徒の成長を大きく感じる取り組みだと感じています。

②2級造園施工管理技士の取得

2年次の土木施工の時間と、3年次の課題研究等の時間で、教科書とオリジナルの学習プリントを活用し取り組んでおります。平成30年には、目標である受験者全員合格を達成しています。

③各種資格取得

上記の他に進路選択の幅を広げるため、測量士補・小型車両系建設機械・アーク溶接・刈り払い・伐木業務従事者等の資格取得に取り組んでいます。

⑵卒業庭園造り

3年間の専門学習の集大成である卒業庭園を作成しています。例年は本校の敷地内に作成しているものですが、今年度は富士大学と高大連携事業という形で取り組み、大学内中庭キャンパス900㎡の空き地に、これまでにない大規模な卒業庭園を作成しました。設計のコンセプトは、宮沢賢治先生が「理想郷」という意味で表現されたイーハトーブ。それと童話の中に登場する「ポラーノの庭（理想の広場）」を表現。庭園名を「イーハトーブガーデンFuji」としました。庭園完成時の生徒たちの表情は達成感に満ちており非常に印象的でした。生徒達にとって、本当に様々なことを学び・体験できたとても貴重な経験となったと感じています。

検定練習の様子

⑶地元造園業者との連携と、学んだ技術・知識を生かした地域貢献

①インターンシップ・マイスター制度の活用・技術講習・現場見学

この活動は、地元造園組合やOB・卒業生がお世話になっている造園会社の協力により実現しております。学校内では実現できない、生きた専門学習・進路教育が実施できています。

②地域貢献

出身中学校への出前剪定・市内大規模公園の整備・高齢者宅剪定実習など、学校で身に付けた技術や知識を活用し、積極的に地域へ還元するよう取り組んでいます。学校や学科のアピールになるだけではなく、生徒達が学んだことが実践を通して確認できる上、地域社会に貢献しているという自信と公共心を身に付けることができる活動です。

寄贈した門松

⑷門松作り

造園技術を学ぶ一環として門松作りに取り組んでいます。本校の実習で育てた稲藁を使用した土台などすべて手作りの門松です。生徒が日頃からお世話になっている公共施設に寄贈していますが、今年は新型コロナウィルスの対応に尽力されている医療従事者への感謝の気持ちを込めて岩手医科大学附属病院へ寄贈させて頂きました。これまで身に着けてきた技術をこのような形で地域の方々にご披露できること遣り甲斐を感じると共に大きな喜びでもあります。今年も感謝の気持ちを込めて丁寧に作り上げました。

卒業庭園制作の様子

4．まとめ

昨年度から本県で造園教科を学ぶ高校は本校のみとなりました。造園を学べる県内唯一の高校として、造園の魅力を伝え、更には造園業を志すきっかけを与えられる場にしていきたいと思います。これからも実践的・体験的な学びを通して、専門的な知識や技術を習得した地域産業の担い手の育成に努めていきます。

特集　植木類に加害する外来病害虫・東京周辺の事例⑦

プラタナスグンバイ

樹木医　小林　明

【21世紀初頭に確認】

「あなたの肩先にひらひらこぼれてるプラタナスの枯れ葉…」。プラタナスよりスズカケノキの呼び名に馴染みがあった50年ほど前の昭和時代に流行した曲です。このころはプラタナスグンバイが侵入しておらず、真夏も青々とした葉が緑陰を提供していました。

それから四半世紀を過ぎた20世紀の末にプラタナスグンバイが侵入しました。もともとの生息地は北米で、国内で初めて確認されたのは2001年、愛知県や福岡県、東京都などで発生が発表されました。アメリカからの輸入品に紛れ込んでいた可能性が考えられます。当時、筆者も都内でプラタナスの葉色の変化に気づき、被害状況を調べたことがあります。この後、徐々に国内で拡がり始め、今では真夏を迎えるころには、国内の多くのプラタナスに淡い黄色から白色に近い色をした葉が目立つようになっています（写真－3と4）。

写真－１プラタナスグンバイの成虫と排せつ物（７月上旬）

写真－２ツツジグンバイ（５月中旬）

プラタナスは、欧米化した都市景観にマッチし、成長が早いことや樹形を整えやすいことから、街路樹や公園樹などに多く使われてきました。近年は花木類や紅葉が鮮やかな種類などに植え替えられ、減少する傾向にありますが、植え替え需要はまだあるものと思われます。

【美観阻害と不快害虫】

プラタナスグンバイは、生育に大きな影響を与えていないと考えられますが、葉裏に寄生して養分を吸汁することにより、葉が変色して街路樹の美観を阻害したり、飲食店に入り込んだり、洗濯物に付着したりするなどの不快害虫になっています。

この虫は、カメムシ目グンバイムシ科に属する昆虫で、名前は、翅（はね）を閉じたときの形が軍配に似ていることによります（写真－2）。グンバイムシ科には、他にツツジ類の葉に吸汁害を与えるツツジグンバイ（写真－4）がありますが、形態はよく似ています。大量に発生すると葉の裏に径1㎜ほどの黒いタール状の排せつ物が目立ち、いやな臭いを放つこともあります。

写真－３吸汁害を受けた葉（７月中旬）

写真－４黄白色の葉が目立つ樹冠（10月上旬）

【生態】

体長は3・5㎜ほどでメスのほうがやや大きく、翅の脈が目立ち、色彩は白色を帯びています。英語名はsycamore lace bug（プラタナスに寄生するレース模様の翅がある虫、の意味）で、翅の模様に由来しているようです。

年に3回以上発生するとされ、関東地方では7月ごろから葉が黄ばみ始めることで発生が分かります。成虫で越冬するため、10月以降に葉が開いたときも吸汁害を受けることがあります。

吸汁害を与える樹種は、国内では今までのところプラタナスだけですが、海外ではカエデ類やクルミ類、ブナ科、クワ科の樹木などが知られています。

【防除】

適用がある農薬には、スミチオン乳剤やダイシストン粒剤などがありますが、散布するタイプの農薬は、大きな木の場合になると全体に行き届かせることが困難です。

連載「自然に想う」

第２回 人と自然の間で生じる様々な課題の推移

（一財）自然公園財団 専務理事　鳥 居 敏 男

◆プロフィール
1961（昭和36）年生　1984年環境庁（当時）入庁。上信越高原、瀬戸内海、釧路湿原、知床などの国立公園の現場管理に携わる。本省国立公園課長、自然環境計画課長などを経て、自然環境局長を最後に2021年退職。

前回は「人と自然のより良い関係」というテーマで、「自然とは何か」という点にも触れながら書きました。今回は、人と自然との間で生じる様々な課題が近年どのように推移してきたのかを概括してみたいと思います。

戦後の日本は敗戦からの復興、そして高度経済成長の波に乗り、国土の開発が進みました。海岸は埋め立てられ、重化学コンビナートが造成されました。1945年から1996年までの間に全国の干潟の約４割が消失しています（図１参照）。奥山の天然林は伐採され、スギやヒノキといった人工林に置き換わっていきました。電源開発、観光開発が進み、ダムや道路が全国各地に建設されました。人々はより安定した生活を求めて都市に住むようになり、私たちの暮らしも随分と豊かになりました。しかしその一方で大気や河川・湖沼の汚染が進み、深刻な健康被害をもたらす公害問題が顕在化しました。農薬散布の影響でメダカやドジョウなどの身近な生き物は、姿を消していきました。社会経済活動に伴う開発によってわが国の自然環境は大きなダメージを受けたのです。

1950年代後半から急速に進んだ化石燃料への依存度の高まりと、農山漁村から都市への人口移動が進んだことにより、農山村では放置された山林や田畑が広がりました。農林水産省の調査によれば、1975年に13.1万 ha だった耕作放棄地は、2015年には42.3万 ha にまで増加しています。実に富山県に匹敵する面積です。燃料が薪炭から石油などに置き換わることにより薪炭林が放置され、林床に陽が差し込まないうっそうとした森になってしまいました。人手が入ることで維持されてきた雑木林、田んぼやため池といった環境を棲み処としていた植物や水生生物などが今絶滅の危機に瀕しています（写真１及び２参照）。開発とは逆に、人が手を加えないことによって生じる負の影響です。これは人と自然との直接的な関わりが希薄になってきていることの現れと言えるでしょう。図２は独立行政法人国立青少年教育振興機構が2010年度に調査した、自然体験をほとんどしたことがない小・中学生の割合を示したものです。これによるとチョウやトンボ、バッタなどの昆虫を捕まえたことがない小・中学生の割合が４割にも上っています。

写真１：放置された里山

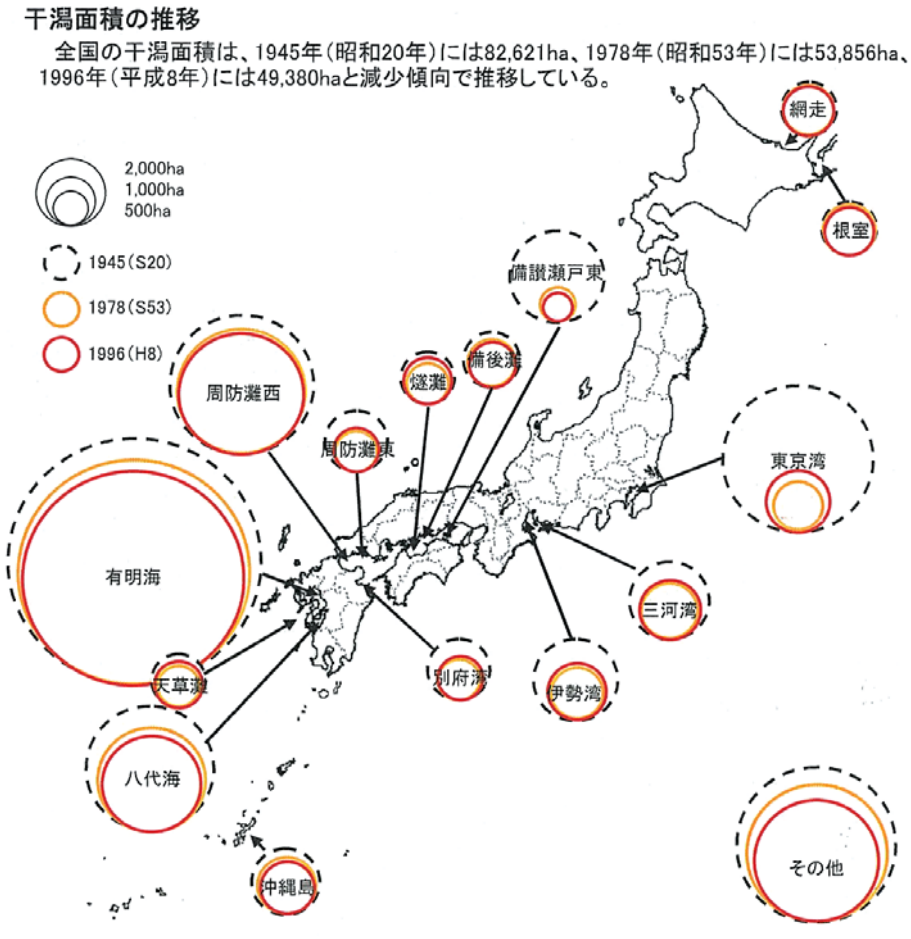
写真２：雑木林に咲くカタクリ
（一部地域では絶滅危惧種に指定）

さらにグローバル化した経済は、人や物の世界的な流通量を飛躍的に増大させました。公益社団法人日本港湾協会の資料によれば、1970年に247万トンだった輸入コンテナ貨物量は2019年には１億6,201万トンまで65倍以上に増大しています。このような物流に紛れ海外からやっかいな生物がやって来ます。サクラやウメに深刻な被害をもたらすクビアカツヤカミキリもその一つです。2018年に環境省が特定外来生物に指定し、見つかった自治体では対策に追われています。南の国が原産の外来昆虫などが定着できるかどうかは、気温の上昇など気候変動による影響も多分にあると考えられます。また地球温暖化に伴う平均気温の上昇は、果樹や農作物だけでなく生態系へも影響を及ぼします。知床は、豊かな動物相を育む陸の生態系と流氷の南限である海の生態系との豊かなつながりが評価され、2005年に世界自然遺産に登録されました。しかしこのまま地球温暖化が進み流氷がやってこなくなると、流氷によってもたらされる植物性プランクトンの供給が減少し、それを餌とする動物性プランクトン、魚類、海鳥、海生哺乳類といった生き物の食物連鎖に悪影響が及び、知床の生態系への悪影響が心配されます。

以上のように、人と自然の間に生じる課題の性質もこの70 - 80年足らずの間にダイナミックに変化してきており、私たちの暮らしに対する影響も大きく、そして複雑になってきています。私たち人間は、地球という一つの天体の中に暮らす生き物です。グローバルな経済活動や、大気や海流の地球規模での動きにより、一人ひとりの暮らしの在り様が、地球の反対側の人々の暮らしへも影響を及ぼし、またその逆もあることが分かってきました。私たちは地球環境が抱えるこの複雑な課題に直面しているのです。

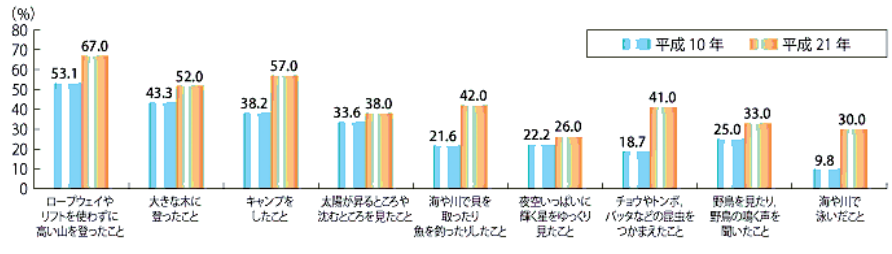
次回からは、国立公園や野生生物といった個別のテーマごとに、さらに掘り下げたお話をしたいと思います。

図１：全国の干潟面積の推移



出典：環境省自然環境保全基礎調査

図２：自然体験をほとんどしたことがない小・中学生の割合



出典：独立行政法人国立青少年教育振興機構（2010）
「青少年の体験活動等と自立に関する実態調査（平成21年度調査）」

コンテナ農場（100 万本生産）

コンテナ農場

オリーブ

カンツバキ赤花と白花

主な生産物
クロマツ　コニファー類　ヤシ類
カシ類　クスノキ　タブノキ
モチノキ　ウバメガシ　オリーブ
カクレミノ　クロガネモチ
サンゴジュ　シマトネリコ
マテバシイ　ヤブツバキ　ヤマモモ
レッドロビン　オウゴンマサキ
カンツバキ（赤花と白花）　サザンカ
シャリンバイ　ツツジ類　トベラ
ハマヒサカキ　ヒサカキ　ミカン類
サクラ類　イロハモミジ　ハナモモなど

㈱瀬戸内園芸センター
緑は地球を救う
愛媛県今治市旦甲 248-1　TEL 0898-48-0010（代）　FAX 0898-48-8187
http://www.setoen.com/　E-mail : setouchi@setoen.com

シリーズ　ちょっと一息、ほっこり出来るような記事を募集しています。是非お送り下さい。

TEATIME
連載「私の趣味」②
ヨーロッパ旅行にて

丹下　幸雄
㈱瀬戸内園芸センター（愛媛県）

②「ベルヴェデーレ宮殿」
　この絵は、日本食研様がベルヴェデーレ宮殿をモデルに愛媛県今治市に建てた工場です。弊社は建物の庭園一式を請負い、施工致しました。私も日本食研様とオーストリアへ同行し、本物を見学しました。バロック式庭園を猛勉強したことを思い出します。本物はハプスブルク家に仕えた貴族オイゲン公が建てたものです。現在は美術館になっています。

③「ノイシュヴァンシュタイン城」
　ドイツにある、ヨーロッパで一番美しいといわれる城です。ディズニーランドのシンデレラ城のモデルになったとも言われています。
　150年前に山の上に建てられた城で、残念ながら未完成だそうです。アクセスはあまりよくありませんが、行った甲斐がありました。

①「エッフェル塔」
　セーヌ川に架かるビル・アケム橋の展望台から望むエッフェル塔の眺めです。塔周辺のシャン・ド・マルス公園は想像していたよりも緑が多く、剪定も行き届き、セーヌ川からパリ市街の風景は素晴らしいものでした。騎馬像はジャンヌ・ダルクです。

素描挿話。
～すてきな花達に魅せられて
⑩ユキツバキ

小岩井農牧㈱（岩手県）
足澤（たるさわ）　匡（ただし）

「ヤブツバキ *Camellia japonica* 」はご存じの通り、ヤマツバキ、ツバキなどともいわれ、身近な常緑広葉樹ですが、「ユキツバキ *C. japonica var. decumbens*」を見たことがありますか？　私は18年前に自生のユキツバキを観察する機会がありました。岩手県和賀郡湯田町（現在、西和賀町）は岩手県でも有名な豪雪地帯で、家の二階に玄関がある家屋も見られる地域です。奥羽山脈に分け入る白木峠にユキツバキの群落がありました。ヤブツバキの葉にはツヤがあり、しっかりとした生命力を感じさせるのに比べ、ユキツバキはどこか寂しげで、儚げな印象を受けました。ツバキの語源の一説に、「ツヤのある葉を持つ木」→「ツヤ葉の木」→「ツバキ」がありますが、ユキツバキの葉にはツヤが少なく、陽に透かして見ると葉脈が透けるほど、葉に厚みが感じられませんでした。また、花の形もヤブツバキとは異なり、平開して咲き、黄赤色の花糸が短く、少し広がるところも、なぜか寂しげに感じました。しかし、そんなユキツバキが雪国の厳しい寒さに耐え、こんなにも鮮やかな赤い花を咲かせる。けなげな姿に感動したことを覚えています。演歌の一節♪でも出てきそうですよね。

岩手県和賀郡湯田町（現在、西和賀町）白木峠にて

　ところで、ユキツバキの自生地は、日本海側の多雪地帯ですが、雪が多く積もり、雪の中に入っていることで逆に厳寒から守られているのです。奥羽山脈の多雪地帯にはユキツバキの他にも、ヒメアオキ、エゾユズリハ、ハイイヌツゲ、ハイイヌガヤ、などの常緑樹が自生しています。ちなみに、ユキツバキとヤブツバキの中間種である「ユキバタツバキ *C. amplexicaulis*」が存在するそうです。ということは、ヒメアオキとアオキ、エゾユズリハとユズリハ、ハイイヌツゲと…、それぞれの中間種を是非とも見てみたいものです。興味は尽きませんね。だから、楽しいです。

会員動向

退会

▷竹内園芸（静岡県）

メールアドレス変更

▷㈲熊本緑化センター
（熊本県）
info@green-netbox.com

お詫び

　緑化通信第490号（１月号）での訂正です。大変申し訳ございませんでした。
正：㈲大坂林業（北海道）の松村幹了さまは、北海道・東北ブロックの副ブロック長です。